



# 秋田中央地域地場産品 活用促進協議会

通称「農家のパーティ」ネットワーク——が始動

JA秋田なまはげと管内の秋田市・男鹿市・潟上市は、秋田中央地域地場産品活用促進協議会（通称「農家のパーティ」ネットワーク）を設立しました。JAと県央の3市が連携し、地域の生産者や事業者の皆様と一体となることで、地場産品の販売促進や認知度向上、地域産業の活性化を目指します。

地場産品の活用促進に意気込む  
京極芳郎組合長ら  
(5月29日(水)、協議会設立総会にて)

## 設立までの経緯

平成30年に2JAの合併により当JAが誕生したことがきっかけで、秋田市でこれまで実施してきた「農業ブランド確立事業」や「6次産業化関連事業」などの地元農産物の販売促進を図る取り組みを、男鹿市と潟上市へも広げることとなりました。JAと行政のエリアが重なることで、互いの強みを生かしたプロモーション活動を行い、地場産品の発信力強化を図ります。

## 活動内容

JA・3市・会員の皆様が一体となり、県内外で様々な活動を行っていきます。

- 首都圏トップセールス
- 管内道の駅・イベントでのプロモーション活動
- 第39回全国豊かな海づくり大会やクルーズ船寄港に合わせたプロモーション活動
- バイヤー向け商談会への出展・マッチング商談会の開催
- 会員研修会・交流会
- 会員への出展活動・商品開発補助 など

## 会員特典

会員になると、協議会が行う活動に参加することができます。また、地場産品に関するイベントに参加するときの出展料や旅費、新商品の開発にかかる費用の一部に、補助金を交付します。5月27日(月)時点で協議会に加入している事業者会員は、農水産物の生産者や製造業者、小売

サービス業者など131事業者。そのほかに、地域産業の活性化に賛同して活動を支援する19事業者が賛助会員として加入しています。「農家のパーティ」に参加して、県内外に地場産品の魅力を発信しませんか？

※加入条件につきましては、各市・JAの担当部署でご確認ください

